

「カンボジアのリハビリテーション 11ヶ所に対する障害児用中古車椅子供与計画」

2012年3月5日プノンペンのリハビリテーションセンターで社会福祉省副大臣、日本大使館全国リハビリテーションセンターの代表者や障害者福祉関係者が出席して、2回目の供与となる80台の障害児用車椅子の引き渡し式を行いました。現地テレビの取材放映もされました。



各リハビリテーション責任者と覚書を交わし、確実な維持管理を確認しました。



式の中でリハビリセンターの代表者に当会理事がそれぞれに車椅子を手渡しました。



供与した全ての車椅子には当会のステッカー（日の丸）を添付してあります。引き渡し式の後、それぞれ配布した車椅子を車に乗せてセンターに持ち帰った。

初めて乗る車椅子に子どもも親も感激して、みな笑顔で応えてくれた。



カンボジアの地方の村落は貧しく、その上地雷やクラスター爆弾など内乱や戦争による犠牲者も多く支援も届かないのが実情です。



当会理事片野は引き渡し式の後 3 月 5 日から 9 日迄、4 ヶ所のリハビリセンターに JAAC 代表者と社会福祉省の担当官と訪問し前回 2010 年に供与した車椅子のモニタリングを行いました。的確な管理を確認したが、障害児用車椅子は全く不足して継続的な供与を強く要望されました。



シェムリアップのリハビリセンター所長と意見交換。あと 100 台は必要と訴えられた。



各リハビリセンターには車椅子の修理も出来る作業場があります。



地方の障害児の悲惨な実態を見て当会活動の必要性和使命感を感じました。シェムリアップリハビリセンターの前で所員の方達と写真撮影。